

## 「開国博Y150」では、 「環境」に配慮したさまざまな取り組みを行います

開国博Y150では、環境メッセージを含んだ数多くのイベントや展示があります。会場づくりや制作運営面においても、横浜市策定の「CO-D030」や「ヨコハマはG30」と連携しながら、「環境」に配慮したいろいろな取り組みを行っています。

### 1 イベントや展示における取り組み

#### 【ベイサイドエリア】

##### (1) Y150はじまりの森 / ENEOS未来のエネルギー館

大切なエネルギー資源と私たちの地球をテーマにした、体験型パビリオンです。地球環境にやさしい新たなエネルギーシステム家庭用燃料電池「エネファーム」などについて、実験を交えながら紹介します。



##### Y150はじまりの森 / ENEOSラ・マシン

モデルとなったクモは、横浜市では種の多様性を示す指標生物の一つに選定されています。

※指標生物とは  
自然環境の状態を知る手法の一つとして生物指標を行う際に用いる  
生息・生育環境が限られている生物のことです。



##### (2) Y150トゥモローパーク / アースバルーン「HOME」

地球環境を守ることの大切さ、人類が帰るべき故郷の惑星(HOME)は地球であるというメッセージを展開します。



##### (3) NISSAN Y150ドリームフロント&スーパーハイビジョンシアター

未来を担うこどもたちが地球のための「思いやり活動」について「気づき」「考え」「行動する」パビリオンです。



#### 【ヒルサイドエリア】

##### (1) Y150つながりの森

横浜の自然、特に懐かしい里山に触れ、自然の大切さを感じることができます。  
(竹の海原、棚田・段々畑、60種の草花の花壇など)

##### (2) 市民創発プロジェクト

市民スタッフが企画して作り上げた、自然・環境、共生などの様々なテーマを持ったプログラムが展開されます。



## 2 環境に配慮した会場づくり

赤レンガ倉庫・大さん橋ホール・旧トリエンナーレ会場(新港ふ頭展示施設)・山下公園などの既存施設を活用することにより、新たな会場建設を最小限に抑制し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

また、最先端の環境技術を採用した取り組みや、様々な「体験」を通じた環境啓発活動などの取り組みを行っています。

なお、新たに建設した施設は、閉幕後に解体し、その建材を一部リサイクルすることなども予定しています。

### (1) コンクリートの使用抑制

- ・ Y150つながりの森

コンクリートを使用しない工法で、「竹の海原」を施工します。



### (2) 空調設備の設置抑制

空調設備の設置を最小限に抑え、様々な環境配慮技術を活用して涼しさを演出します。

ドライミスト及びセミドライフォグによる冷却効果 / 酸化チタン光触媒テントや竹の日よけの採用により日射量を抑制 / 竹のフェンス(たて格子)により壁の日射量を抑制するとともに、通風を確保 / 緑化壁や竹のスクリーン / 竹垣へのつる性植物の植栽による涼しさの演出 / Y150つながりの森の水循環する池と足シャワーで涼しさの体感 / 日没後、Y150はじまりの森では涼しげなライトアップによる「ENEOSナイトピクニック」を開催



### (3) Y150つながりの森「竹の海原」に使用する竹の伐採

日本最大級の竹の構造物である「竹の海原」に使用する竹の伐採を、市民参加のもと、横浜市内の公園などで行いました。竹林の管理と里山の自然を再生させることに具体的につながります。



### (4) 道志村の間伐材を使用したベンチの作成

横浜市の水源地である道志村の間伐材を活用して、開港時から伝承する「横浜家具」の技術に触れる「ものづくり」の体験を通じ、「自然」と「生活」のつながりと「横浜の歴史」を知ってもらうことを目的として実施しました。



### (5) 閉幕後の建材リサイクル

- ・ Y150はじまりの森

主な建材である円環鉄骨をリサイクルします。

- ・ Y150つながりの森

使用した竹を竹入りの紙としてリサイクルします。

「竹の海原」で使用した床材(杉間伐材)をプランターボックスなどにリサイクルします。

### 3 制作運営面における環境配慮

(1) 廃棄物発電電力の使用 【詳細については別紙をご参照ください。】

横浜市資源循環局金沢工場で発電された電気を特定規模電気事業者(株式会社エネット)を経由して使用

(2) カーボンオフセット

Y150つながりの森においてカーボンオフセットを実施予定

(3) 物品調達

レンタル・リースによる物品調達／印刷物への環境配慮

(4) ごみの分別

エコステーション(分別ボックス)の設置及びボランティアによる分別啓発

(5) 省エネルギー

夜間照明器具として発行ダイオード(LED)を使用／ハイブリッド発電機を利用した照明設備の設置

(6) 公共交通機関による来場の推奨

普通自動車駐車場の未設置／ヒルサイドへのシャトルバス運行／パーク24株式会社と連携したパーク＆ライドの実施／横浜開港150周年協会関係者の自転車利用促進活動

(7) 横浜のイベントをエコにするネットワークとの連携

※「横浜のイベントをエコにするネットワーク」とは

横浜で開催される3つの花火大会の環境活動にかかわっている3団体(社団法人横浜中法人会、横浜市市民活動支援センター運営委員会、Y150市民参加プラットホーム推進委員会)が呼びかけ人となり、2008年1月設立。

「横浜のイベントでは、ごみを捨てる人がいない、環境への負荷をかけない」という文化をつくることを目的とした関係者ネットワークです。

### 4 公式記念ショップの環境への取組み

(1) 省資源対策

包装パッケージの省資源化【菓子類】／包装材・台紙等の必要最小限化の推奨【雑貨】

(2) 環境にやさしい材料の使用

再生材料の使用推奨【雑貨】／塩素系漂白をしない繊維製品・オーガニックコットンの使用推奨【雑貨】／ 燃焼カロリーの高いポリエステルの使用【統一包装材】／フタル酸を含むポリ塩化ビニール(PVC)の使用抑制【雑貨】

(3) ショップ運営上の取組み

レジ袋(統一包装材)の可否についてお客様へのお声かけの実施／再利用可能なリース什器の利用

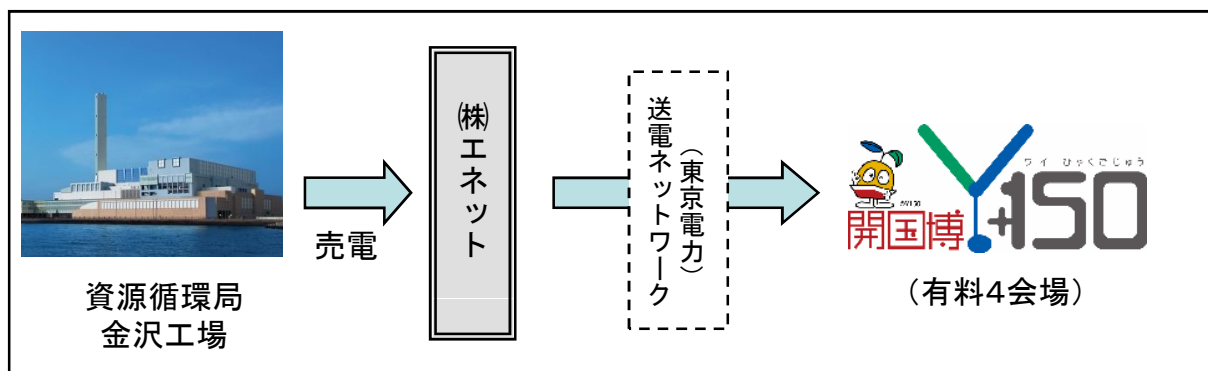
## 【別紙】

# 開国博Y150は ECOな電気で開催します！！

「開国博Y150」では、都市型イベントの特性を活かし、環境配慮の取組みのひとつとして、有料4会場で使用する電気には、横浜市資源循環局金沢工場の廃棄物発電(サーマルリサイクル)を使用します。

博覧会での廃棄物発電の使用は画期的な取り組みです。

### 【今回行った電力契約の仕組み】



- ① 横浜市資源循環局が実施する「開国博Y150有料4会場」への送電を入札条件とした、金沢工場発電余剰電力の売却にかかる競争入札において落札者を決定。

【落札者:(株)エネット】

- ② (株)エネットは、既存の送電線を使用し、「開国博Y150」有料4会場へ電力供給。

※有料4会場

【ベイサイドエリア】・Y150はじまりの森

・Y150トゥモローパーク

・NISSAN Y150ドリームフロント&スーパーハイビジョンシアター

【ヒルサイドエリア】・Y150つながりの森

資源循環局のごみ焼却工場では、分別リサイクルを進めてもなお残るごみを焼却処理し、発生するエネルギーを利用して発電を行っています。このことにより、東京電力等の電力会社での発電量が抑えられ、天然ガスや石油などの化石燃料の使用が減り、結果として二酸化炭素の発生を抑制できます。開国博Y150で廃棄物発電を活用することは、横浜市脱温暖化行動方針(CO-DO30)に寄与します。



環境モデル都市・横浜  
G30からCO-DO30へ  
市民の力が地球を救う



©Y150

## ■横浜市資源循環局焼却工場の廃棄物発電

ごみを焼却する際に発電した電気は、工場内で使用するとともに、近隣の汚泥資源化センターや温水プール等に供給し、さらに電気事業者へも売却しています。



資源循環局金沢工場の蒸気タービン発電機

## ■(株)エネット

エネットは株式会社 NTTファシリティーズ、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社の3社合弁により設立された新規参入の電気事業者です。情報流通分野とエネルギー分野の融合により、これまで培ってきた膨大なノウハウの相乗効果(シナジー)を発揮し、新規事業者としてのトップシェアを獲得しています。さらに全国規模で今までの電気事業者にない新しいサービスに挑戦する会社です。

### 【横浜市内公共施設への供給実績】 2009.4.1現在 順不同

横浜市庁舎／横浜市教育文化センター／横浜市立日野小学校ほか99校／横浜能楽堂／三ツ沢公園／横浜労働センター／横浜法務合同庁舎／横浜第二港湾合同庁舎／横浜地方検察庁横須賀支部／横浜拘置所支所／横浜少年鑑別所／戸塚斎場



<http://www.ennet.co.jp/>